

2019年度 後学期

文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)認定 「保育・子育て支援ラーニングプログラム」シラバス (お茶大 ECCELL 社会人プログラム)

【後学期】

基礎科目 自由選択：乳幼児の世界Ⅱ (1単位)

発展的科目 自由選択：保育人間学演習 (2単位)

シラバスに関する問い合わせ先 ECCELL事務局 nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp

乳幼児の世界Ⅱ (科目コード 1900168) 1単位

集中講義 12月21日(土)、1月11日(土)

① 9:00-10:30 ② 10:40-12:10 ③ 13:20-14:50 ④ 15:00-16:30

担当：宮里 暁美 (文京区お茶の水女子大学附属こども園 園長)

主題と目標

「認定こども園って何？」を主題とする。新しい乳幼児教育施設としての認定こども園は徐々に広がりつつあるが、その在り方については、模索状態だと言える、本大学にある認定こども園の実践や、日本全国にある熱心な実践園の保育を題材とし、そこで育っているものは何か？認定こども園の保育とはどういうものか？について学ぶ。大学内にあるこども園の保育室で学ぶ時間を持ち、互い意見を交わし、理想のこども園を構想したり、実際に遊んだりする時間を多く持つ。

受講条件・その注意

現在乳幼児教育や学校教育に携わっている方、将来乳幼児教育に携わりたいと考えている方、乳幼児教育に関心のある方を対象とした内容。

授業の形態

■演習 ■講義

教科書・参考図書

授業時に使用する資料は、授業当日に配布。

評価方法・評価割合

■小論文(レポート)(割合:50%) ■授業への参加態度(割合:20%) ■発表(割合:30%)

授業日程・授業計画

12月21日 (土)	認定こども園って何?(1) ①認定こども園の特性と各地区の園の実践について学ぶ②文京区お茶の水女子大学こども園の実践について語り合う③ワークショップ「感じる世界を感じる」:カラダ・もの・ひと④認定こども園について、感じたことを出し合い、考え合う
1月11日 (土)	認定こども園って何?(2) ①認定こども園レポートをもとに話し合い②認定こども園をつくってみよう!(構想⇒絵⇒カリキュラム等)③創設した認定こども園の生活を表現しよう!④体験のまとめ:認定こども園って何? 感じたこと、分かったことの共有

時間外学習

受講者一人ひとりの課題意識を大切に授業運営を行います。日々の生活の中での気づきを大切に。1月11日の授業のために課題「近くにある認定こども園を見てみよう」(レポート2枚程度)があります。詳しくは1回目の授業時に伝えます。

学生へのメッセージ

集中講義の中で、学び合いを行います。立場や経験、年齢の違う同士が学び合うことは貴重な機会になります。積極的な姿勢で授業に参加することを期待します。

保育人間学演習（科目コード 19J2124） 2単位

金曜 18：20～19：50

担当：浜口 順子（お茶の水女子大学）

主題と目標

津守真（1926-2018）の保育論を読む。客観的量的方法による発達研究から人間学的質的方法による保育研究へ「転回」した過程を論文や著書等を通して考え、その意味を考える。

受講条件・その注意

この科目は、2019年度から文科省BPの「保育・子育てラーニングプログラム」としても受講できます。その場合は、受講申込の前に担当教員の了解を得る必要があります。

授業の形態

■演習

教科書・参考図書

津守真他『人間現象としての保育研究』（光生館）ほか。

評価方法・評価割合

■発表=10% ■授業への参加態度=50%

■小論文（レポート）=授業後のリフレクションペーパー=20%

授業日程・教室

金曜 18：20～19：50 共同研究室（発臨）

授業計画

津守真の著書、論文を、だいたい年代順に読みながら、思想の変化と深まりについて討議する。『津守式乳幼児精神発達診断法』（大日本図書）、『人間現象としての研究』（光生館）、『子ども学のはじまり』（フレーベル館）、『子どもの世界をどう見るか』（NHK新書）、『保育の体験と思索』（大日本図書）、『保育者の地平』（ミネルヴァ書房）ほか、雑誌『幼児の教育』に掲載されている多数の論文も読む。最初の授業で計画表を作り、レポーターも大体決めたい。

時間外学習

次回の授業で使う資料はよく読んでくること。授業後の振り返りをし、リフレクションペーパーを自宅で書いて送ってもらう。

学生へのメッセージ

津守真は、倉橋惣三の跡を受け継ぎながらもユニークな戦後日本の幼児教育学の柱の一つを築いた人です。著者やいろいろとありますので、面白いと思うものを読んでおかれるといいと思います。